

4. 大学の取組

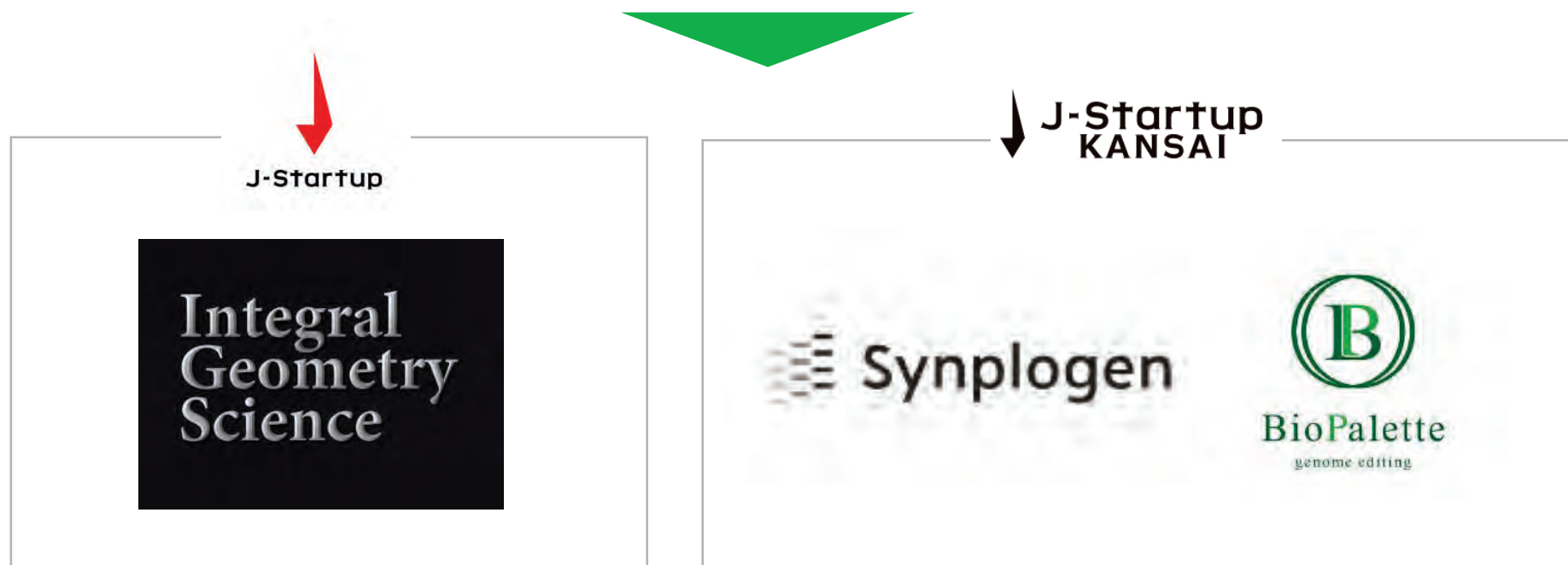
神戸大学

スタートアップ創出・支援の取り組み

▶ 科学技術イノベーション研究科や、産学連携本部、100%出資子会社の神戸大学イノベーション等を通じた、研究成果の事業化・社会実装、大学発ベンチャーのハンズオン支援を実施

社会還元加速プログラム（SCORE）大学推進型に採択

▶ 20年度起業3社、21年度起業1社（7月時点）



J-Startup/J-startup KANSAIに神戸大学発スタートアップが選定

▶ 内閣府アクセラレーションプログラムにも参加

4. 大学の取組

神戸大学

ファンド設立の検討

- ▶ 大学発スタートアップの起業後の育成、スケールアップ、Exit支援を行うためのファンド設立を検討推進
- ▶ 承認TLO(株)神戸大学イノベーションの子会社がファンドGPとなり、メガバンク、地元の金融機関等をLPとして組成予定(2021年内)

アントレプレナーシップ教育

- ▶ 2020年に県市共催で「地方大学・地域産業創成交付金」事業で「グローバルアントレプレナー育成プログラム」を実施
- ▶ 起業プラザひょうごにて、ビジネスモデルやファイナンス等のアントレプレナーシップ・カリキュラムを提供するとともに、受講者に 向け個別メンタリングを実施。
- ▶ プログラム参加者中19名中、**11名が起業済または起業予定**



4. 大学の取組

関西学院大学

① KANSAI STUDENTS PITCH Grand Prix 2021

- ▶ イノベーション人材の育成に取り組む関西圏の国公立大学が集い、大学推薦によるピッチコンテストを開催（10大学が参加）

② IPOアントレプレナー100人創出プロジェクトの実施

- ▶ 関学出身の上場起業家を創立150周年（2039年）までに100人輩出すること目指したプログラムの実施（2016年秋開始）



5. 都市の環境

スタートアップ支援の中心となる施設・場（公的施設・民間施設）

2020年にオープンした新たな拠点

UNOPS S3iイノベーションセンター・ジャパン

- ▶ 国連や世界銀行、各国の依頼に基づきプロジェクト推進を担う国連機関「UNOPS」がSDGs上の課題解決を目指すスタートアップの活動拠点（2020.11月開設）

起業プラザひょうご

- ▶ 2017年開設。2020年に移転し、SMB Cとの官民連携コワーキング施設として、スタートアップ支援機能を拡充しオープン。2020年に姫路と尼崎にエリア拠点を設置

スタートアップ・クリエイティブラボ(SCL)

- ▶ 2020.10月スタートアップが活躍する拠点となるシェアラボを開設
- ▶ 共用実験機器の完備、24時間365日実験可能

ANCHOR KOBE

- ▶ 業界の垣根を超えたイノベーション創出を担う産・官・学の交流スペース「ANCHOR KOBE」が2021年4月オープン。起業家育成プログラムや各種イベントを実施。



神戸



尼崎



姫路



6. アフターコロナ

「STOP COVID-19×#Technology」の実施

- ▶ コロナ対策の技術等の募集、実証実験、社会実装の取組。
- ▶ 採択社数：183社応募、18社採択
- ▶ テクノロジーを用いた飲食店支援、高齢者の健康支援、店舗内での混雑緩和などの実証実験を実施

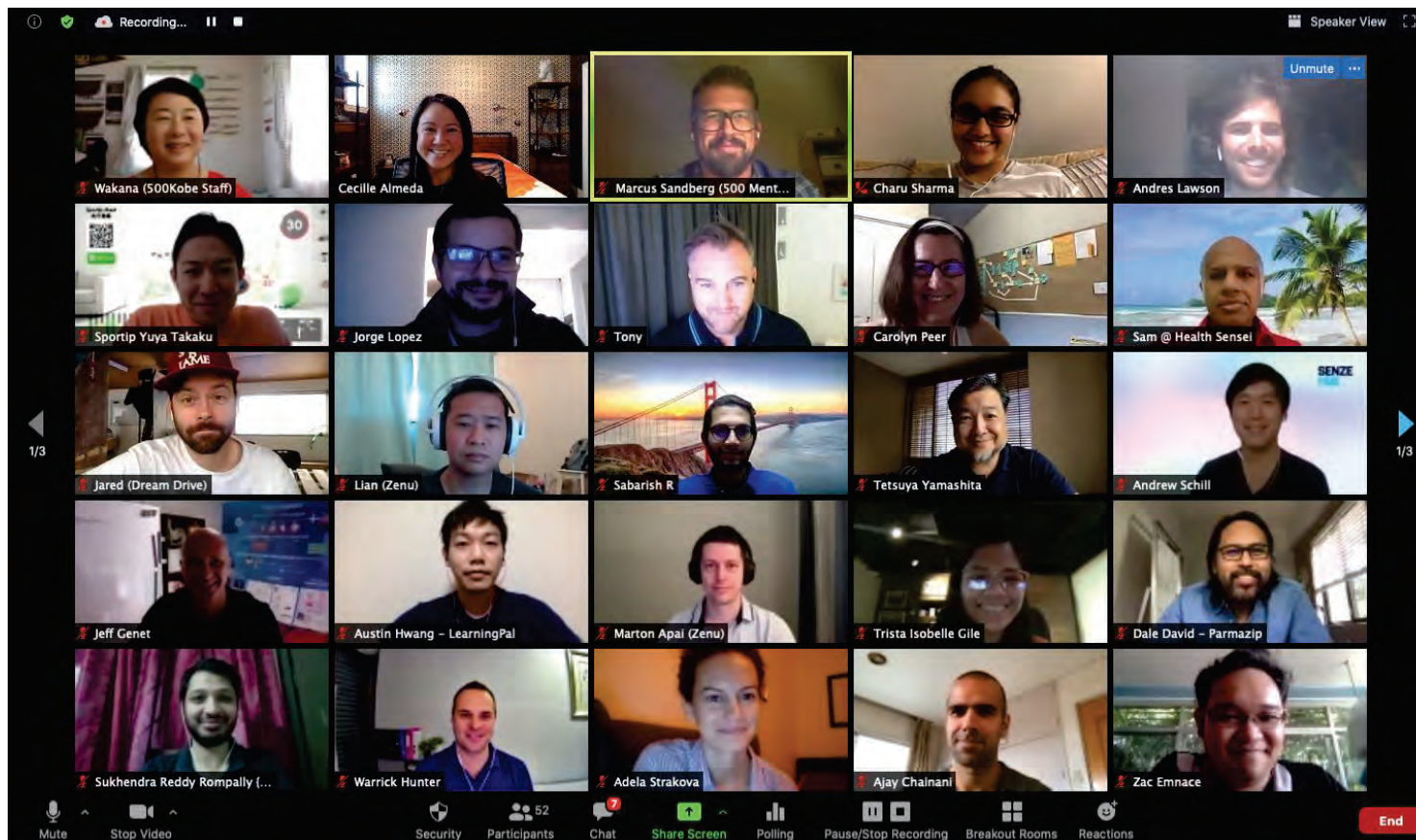


日本の未来を救う**挑戦**を、ともに、神戸から

6. アフターコロナ

「500startups KOBE」において、コロナ対策のスタートアップを募集

- ▶ 237社応募、17社が参加
「遠隔医療サポート」や「個人の体調管理のためのソリューション」、「リモートワーク・学習サポート」、「オンラインイベントの効率的な管理と運営」などのテクノロジーを持った企業を支援
- ▶ プログラム・デモデイをすべてオンラインで開催
- ▶ R2参加企業資金調達 **83,200千円** (累計)



6. アフターコロナ

コロナ禍におけるオンラインイベント実施

- ① コロナ対策をテーマとしたピッチイベント「KOBEスタートアップピッチ～Stop Covid-19×Technology～」
 - ▶ 「STOP COVID-19×#Technology」「500startups KOBE」等コロナ対策の取組を7社より発表
- ② 弁護士・行政書士・税理士・金融機関等とスタートアップのマッチングイベント
「KOBEスタートアップピッチ～金融機関・弁護士・行政書士・税理士編～」
- ③ マッキンゼー・アシックス・神戸市パネルディスカッション 「ニューノーマルのスタートアップエコシステムを考える」
 - ▶ <登壇者> マッキンゼー・アンド・カンパニー 日本支社 関西オフィス共同代表 北條 元宏様
株式会社アシックス 代表取締役社長COO 廣田 康人様
神戸市長 久元 喜造



6. アフターコロナ

アフターコロナ

ポストコロナ・スタートアップ支援事業

- ▶ デジタル化・非接触化といったポストコロナ社会を見据えたテクノロジーなど新たな価値や市場を生み出すクリエイティブなものづくりやビジネスを対象に、起業や事業拡大に要する経費を助成 [最大500万円 (定額)]
- ▶ 公開審査会において採択者を決定
出場者にはメンターによるビジネスプラン・ピッチメンタリングを提供
- ▶ 採択事業例

最優秀 (株)With The World

国内と海外の学校をオンラインで繋ぎ、社会問題をディスカッションする授業システムの提供



(株)Sydecas

低糖質・植物性オルタナティブゼラチン素材「Ninja Paste」の生産事業



(株)Daft

with or after コロナ時代のOMO販売プラットフォーム「ハロトコ」の提供



7. グローバル

UNOPS S3iイノベーションセンター・ジャパン

- ▶ 国連や世界銀行、各国の依頼に基づきプロジェクト推進を担う国連機関「UNOPS」が推進する、SDGs 上の課題解決を目指す、スタートアップの活動拠点「**S3iイノベーションセンター・ジャパン**」が**2020.11月開設**
- ▶ 「Global Innovation Challenge～テクノロジーを用いた強靱なインフラを作り、気候変動への対処を強化する～」を実施。98 各国・地域から624 社の応募、6 社入居。
1社米国に進出予定



7. グローバル

外国人起業家の受入れ体制の充実

スタートアップVISA

- ▶ **500 KOBE卒業生含む2社認定。(2021.7時点)**
- ▶ 2020年度に兵庫県も同事業を開始し、起業プラザひょうごに窓口を設置

外国人起業家の移住支援

- ▶ 100万円/件の支援を2020年から開始。移住の経済的負担を取り除く。
- ▶ **米国企業1件認定**



7. グローバル

グローバル展開

シリコンバレーオフィス

- ▶ 2019年5月開設。2020年に駐在員を1名追加し、米国スタートアップの誘致、日本のスタートアップの米国進出を支援

医療分野での海外クラスターとの連携

- ▶ 大連市（中国）MOU締結（2021年7月）

バイオスタートアップの世界展開支援

「Kansai Life Science Accelerator Program 2020」

- ▶ 世界展開を目指す日本のバイオスタートアップを育成するためのアクセラレータープログラム
- ▶ 当日参加者104名、応募14社・採択6社

第2回京都大学ライフサイエンスショーケースSan Diego 2021

- with FBRI and JETRO -

- ▶ オンラインでの米国投資家向けショーケース
- ▶ 当日参加216名

Demo Day
KANSAI
Life Science
Accelerator
Program 2020

開催日時： 2021年3月10日(水)
8:00~11:00 (日本時間)

開催形式： オンライン開催

参加費： 無料

参加登録： <https://hopin.com/events/kansai-demo-day>

使用言語： 英語

共催
BAYER バイエル
sysmex
Ikigai Accelerator
CLSI
KOBE
FBRI

SDGs CHALLENGE

- ▶ 県・市とUNOPSが連携し、SDGsビジネス機運を醸成し、グローバルなSDGs課題解決を目指すスタートアップ等の事業構築・海外展開を支援するプログラム（20社程度を支援）



グローバル・メンターシップ・プログラム

- ▶ 多種多様なメンターの方々によるスタートアップの支援を実現を目指すプログラム。著名メンターによるセミナー・グループメンタリング・1on1メンタリングを提供予定。年間200社の支援を目指す。

KOBE STARTUP HUBの開設

- ▶ エコシステムのリソースを可視化し結合するためのデジタル・ハブを開設予定。スタートアップ・エコシステムに関わるスタートアップ・メンター・支援機関・イベント・プログラム等の情報の一元化を目指す。

エンジニア育成

- ▶ ①プログラミングサロンの運営
- ②グローバルエンジニア育成プログラム参加支援補助
- ③インターンの受け入れを企図する企業とのエンジニア人材のマッチング機会の創出